

昭和59年度花壇管理状況

藤 本 昭 一

昭和59年度は、大、小花壇及び大温室横花壇では5回、その他の花壇では2～6回の植え替えを行い、34種57,302株の草花を植え付けた。

概要及び所感

(1) 模様については、大花壇は、図1～3のように曲線を基本とした。小花壇においては、図4のように直線を基本とし、平面的な模様花壇にした。

(2) 植物については、昨年とほぼ同じ種類を用いたが、ブライダルベールを展示資料館前花壇と食堂フラワーボックス及び展示資料館北花壇に、ジニア・リネアリス及びピオラ・マロンピコティーを小花壇へそれぞれ初めて使用したが、密に茂って縁石を覆い隠すほど良好であった。ただ強い日陰地や夏場の高温時には、花上りが悪かった。ジニア・リネアリスは、株の生長及び花上りも良好であったが、株が混んでくると徒長し、倒伏がやや目立った。芽ぶきはた

いへん良いので、今後使用するには、高く伸びた時点で刈り込み、草丈を低く抑える必要があるだろう。ピオラ・マロンピコティーは、耐寒性が強く色も栗色で従来のものと変わっているが、色調がやや地味なため、模様花壇に使用する際は、合わせる色を検討する必要があると思われる。

(3) 病害虫については、ブライダルベールの一部が、晩秋に枯死するものが見られた。原因は、土中からコガネムシ類の幼虫が多く発見されたことから、これらによって根部を食害されたものと考えられる。また今年も大花壇のパンジーに灰色カビ病が発生したが、気温上昇時にベンレートに集中散布をすることによって、大きな被害は回避できた。しかし、降雨後わずかながら再発する株がみられるので、防除方法について検討する必要がある。

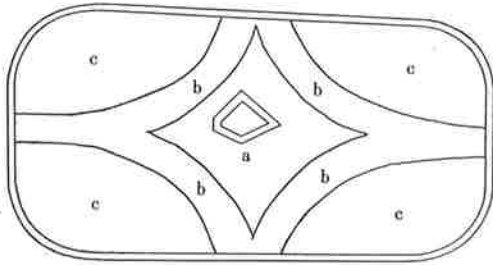


図 1

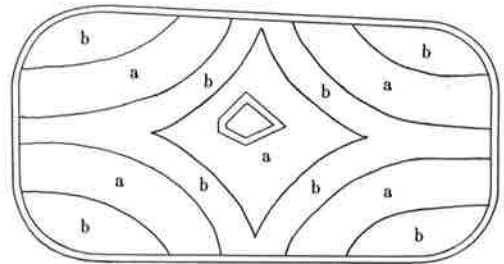


図 3

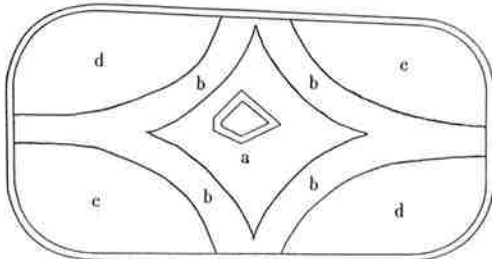


図 2

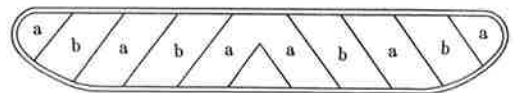


図 4

昭和59年度花壇植物栽培状況

回	花壇名	植付 区	植 物 名	位置	株 数 (株)	面積 (㎡)	植付期日
1	大 花 壇	1	ベゴニア・センパフローレンス(赤) " (白) " (桃)	a b c	879 1,970 3,705	24.4 54.7 102.9	昭和59年 5月25日
	小 花 壇	4	ベゴニア・センパフローレンス(白) " (赤)	a b	1,242 900	34.5 25.0	
2	大温室横花壇	—	フロックス・ドラモンディー(混合) ベゴニア・センパフローレンス(赤)	—	931 807	19.0 22.4	5月26日
3	大 花 壇	1	サルビア・フェリナケア(青) サルビア(赤) フレンチマリーゴールド	a b c	610 1,368 2,573	24.4 54.7 102.9	7月20日
	小 花 壇	4	ジニア・リネアリス アゲラタム(青)	a b	1,305 1,287	34.5 25.0	
	大温室横花壇	—	アゲラタム(青) フレンチマリーゴールド	—	978 588	19.0 22.4	
4	大 花 壇	2	ポットマム(赤) " (白) " (桃) " (黄)	a b c d	391 876 807 840	24.4 54.7 50.4 52.5	10月26日
5	大 花 壇	3	ハボタン(サンゴ)(赤) " (")(白)	a b	1,519 1,394	94.9 87.1	11月30日
	小 花 壇	4	ビオラ(黄) " (マロンピコティー)	a b	1,691 1,225	34.5 25.0	
	大温室横花壇	—	ビオラ(黄) " (青)	—	931 1,098	19.0 22.4	
6	大 花 壇	2	パンジー(赤) " (白) " (青) " (黄)	a b c d	1,196 2,681 2,470 2,573	24.4 54.7 50.4 52.5	昭和60年 2月22日